

宇部山陽小野田九友会

第五回総会・懇親会開かる



平成23年11月11日（金）、宇部全日空ホテルにて第五回宇部山陽小野田九友会の総会と懇親会が開催された。当会は平成19年の創立発起会の翌20年7月に創立総会と第1回の懇親会が開催されて以来毎年行なわれ（20年は2回）、今回は5回目、54名の出席者があった。会場のテーブルには同窓会連合会から送付された記念誌、大学現況報告などの資料や写真などが陳列され、また会場正面には新キャンパスの映像や昨年開催の当会懇親会の模様が映し出され、会を盛り上げていた。

総会では今年度の活動報告、役員の紹介、規定の改訂の説明、同窓会連合会の配布資料の説明、趣味の会の紹介と参加呼びかけ、そして会計・監査報告がなされた。その中で、東

日本大震災への見舞金として当会から総額102,000円（当会のゴルフ同好会有志の分を含む）の寄付が了承された。趣味の会はゴルフ同好会に加え新たに囲碁の会が活動を始め、懇親会は吉森忠彦会長（昭和32年工学部卒）の挨拶、佐々木滋郎氏（昭和23年工学部卒）の乾杯発声で始まり、終始和やかな雰囲気で行なわれた。年代別に割り振った各テーブルでは昔話や今後の趣味や仕事での連携などの話題で盛り上がった。最後に不肖応援団OB羽田野のリードによる学生歌「松原に」の斉唱とエール、師井庸夫氏（昭和30年医学部卒）の挨拶で閉会した。

懇親会開催には50名の参加が必要で安定的な運営には特に若手の自発的参加が必要である。このため、参加する会員に特典を生む企画や地区の先発の同窓会との連携などを模索している。



羽田野製袋義（昭和50年工学部卒）

九州大学女子卒業生の会「松の実会」 平成23年度総会、講演会、懇親会

九州大学女子卒業生の会「松の実会」は、今年度で43年を迎え会員数も延べ2万人に達しました。今年度は平成23年11月20日、ソラリア西鉄ホテルにて、ご来賓をはじめ102名の皆様にご出席いただき、総会、講演会、懇親会を開催しました。

総会では、22年度事業報告、会計報告、会計監査報告、更に23年度事業経過報告及び計画書の提案があり全て承認されました。

本年度から2年間の理事は歯学部担当となり、原田則子会長挨拶後、河野紀美子副会長、坂井貴子副会長はじめ理事全員が壇上にてご紹介に与りました。

講演会では、西日本新聞社編集企画委員の佐藤弘氏に「口福から幸福へのテーマに沿った、「食卓の向こう側に

見えるもの」口は命の入り口、心の出口」をお話していただきました。

生きていることの基本である「噛む、食べる」の重要性を、笑いを散りばめながらも、最後には



総会の様子

感動で涙も誘う語り口に一般の方を含む聴衆全員が惹きこまれ、講演時間があっという間に過ぎました。

懇親会はパーティー会場に場を移し、九州大学理事・副学長



懇親会での原田会長

倉地幸徳様のご挨拶で、海外でのご体験を踏まえ、「松の実会」の会員である女性の力におおいに期待を寄せる旨の激励がありました。その後、歯学部同窓会会長原野啓二様の乾杯のご発声に続いて、待ちに待った会食の円卓を囲んで楽しく懇親を深めました。学士会清水正信様、松の実会前会長稗田慶子様、宮崎支部長長友ひとみ様よりご挨拶があり、情報交換の場では、九大学生による「TOP（九州大学地域活性化団体）」の活動紹介、「九大百年の宝物」など書籍の紹介等があり、予定の2時間を越えても盛り上がりは冷めやらぬうちに名残惜しい閉会となりました。

ご参加くださいました皆様に心より厚く御礼申し上げます。来年度もまた皆様にお会いできたら幸いです。

松野聡子（平成2年歯学部卒）